

第2回千代田区公共施設等総合管理方針改定に向けた庁内検討会 議事概要

開催日時	令和5年12月15日(金) 13:00~15:00
開催場所	千代田区役所6階 601 会議室
出席者	<p>【会長、副会長】古田財産管理担当部長(会長)、小林区有施設担当課長(副会長)</p> <p>【委員】佐藤福祉総務課長、千賀コミュニティ総務課長、環境まちづくり総務課長代理財産管理係長、山崎環境政策課長、神原道路公園課長、前田景観・都市計画課長、緒方住宅課長、夏目企画課長、中根財政課長、御郷デジタル政策課長、山下災害対策・危機管理課長</p> <p>【アドバイザー】東洋大学 PPP 研究センター客員研究員 南学 氏</p> <p>【事務局】政策経営部施設経営課</p>
主な議題	<ul style="list-style-type: none"> ・千代田区公共施設等総合管理方針の改定に向けた全体スケジュール ・改定ポイント、業務の進捗状況
議事概要	<p>【スケジュールについて】</p> <p>○年度明けからパブリックコメントを行う予定。計画案の作成の前に中間の意見聴取を行うことも考えている。</p> <p>【改定ポイント、業務の進捗状況】</p> <p>○「個別施設一覧(個別施設計画相当)」には、今後10年間の改修時期等の目安を記載し、毎年更新していく。内容は予算の概要の記載と整合させる。</p> <p>○毎年の更新と併せ、関係するデータについてコスト等の条件を変えたシミュレーションもできるようにし、第4次基本構想における「変化の激しい時代への柔軟な対応」に向けて、将来費用等の把握を適切なものにしていく。</p> <p>○また、今回の改定では、課題への対応策を一つに絞るのではなく、複数の考え方を示し、それぞれを選択した際の留意事項をまとめていく形を考えている。</p> <p>【アドバイザーからの意見】</p> <p>○データを整理し更新をかけていくことは良いが、積み上がった工事を実行する為だけの調整用ツールになってしまわないように、どのような公共施設が今後の千代田区にとって必要なのか、ビジョンを持つ必要がある。</p> <p>○千代田区として誰を対象にどんな機能を提供すべきか。施設の稼働率等から、その必要性を検討していく必要もあるのではないかと。</p> <p>○人口増加に合わせて施設総量を増やすことを検討している自治体はない。千代田区については人口増加傾向が続くのだろうが、施設の総量よりも機能をどのように充実させていくかを検討すべきと考える。</p>